

(別紙様式 1 - 1 表面)

[受注者からの請求]

令和○年（○○年）○○月○○日

宇城市長

守田 憲史 様

受注者 ○○建設（株）

代表者名

宇城市公共工事請負契約書第 26 条第 6 項に基づく請負代金額の変更について（請求）

令和○年（○○年）○○月○○日付けで契約締結した○○○○○工事については、賃金等の変動により、工事請負契約書第 26 条第 6 項の規定に基づき請負代金額の変更を請求します。

記

1. 請負代金額 ¥
2. 工 期 令和○年（○○年）○○月○○日から
 令和○年（○○年）○○月○○日まで
3. 希望基準日 令和○年（○○年）○○月○○日
4. 施工箇所 ○○地内
5. 変更請求概算額 ¥
6. 概算残工事請負代金額 ¥
 概算残工事請負代金額とは、請負代金額から希望基準日における出来形部分に相応する請負代金額を控除した額

※今回の請求は、あくまで概算額であり、精査の結果、請求額が変更となっても問題はない。

インフレスライド額 算定根拠 (例)

1. 基準日

令和〇年 (〇〇年) 〇〇月〇〇日

2. 増額スライド額 (S 増)

$$S \text{ 増} = [P 2 - P 1 - (P 1 \times 1 / 100)]$$

S 増 : 増額スライド額

P 1 : 請負代金額から基準日における出来高部分に相応する請負代金を控除した額

P 2 : 変動後 (基準日) の賃金又は物価を基準として算出した P 1 の相当する額

$$S \text{ 増} = [P 2 - P 1 - (P 1 \times 1 / 100)] \quad (\text{単位 : 円})$$

$$P 1 = 45,566,878$$

$$P 2 = 46,586,782$$

$$S \text{ 増} = [46,586,782 - 45,566,878 - (45,566,878 \times 1 / 100)]$$

$$= 1,019,904 - 455,669 \text{ (少数点以下切り上げ)}$$

$$= 564,235$$

うち消費税分 (10%) 51,294 円 (小数点以下四捨五入)

※S 増が 0 円以下の場合、インフレスライド対象外となります。

3. 概算残工事請負代金

$$\text{概算残工事請負代金 (P 2)} \quad 46,586,782 \quad \div \quad 46,586,000 \text{ (千円未満切り捨て)}$$